

放送を巡る諸課題に関する検討会  
**ヒアリングご説明資料**

平成28年5月23日

日本放送協会

# 項目

---

1. 今後の公共放送の機能・役割
  - NHKビジョン2015→2020
2. 地域情報の発信のための取り組み
  - 地域放送の実施状況
  - 熊本地震への対応
  - 地域情報の国際発信
  - ネットラジオ「らじる★らじる」の地域拡大
3. 放送の高度化
  - 4K・8K試験放送に向けた取り組み
4. インターネット活用業務について
  - 実施状況
  - 「試験的提供」（テレビ放送の同時配信実験）の実施結果
  - インターネット活用業務の枠組み

# NHKビジョン 2015→2020

多様化が進み、激しく変化する環境の中で、求められる「情報の社会的基盤」

東京リリック・パ・リリックで世界の注目が集まる2020年に最高水準の放送・サービス実現を

命と暮らしを守り、日本や世界の課題に向き合う、公共放送の「原点」を堅持

国際発信とインターネットによる情報発信の強化

放送と通信の融合時代にふさわしい“公共メディア”への進化を見据えて

## NHKビジョン 2015→2020

### 信頼をより確かに、未来へつなぐ創造の力

最新技術を生かし、2020年に向けて世界最高水準の放送・サービスの実現をめざします。

取材・制作力をさらに強化します。放送法に則り、正確・迅速な報道と

豊かで質の高い多彩なコンテンツの充実、国際発信の強化を図り、

放送やインターネットを通じて、信頼される「情報の社会的基盤」の役割を果たします。

# 14の経営指標

- 経営計画（2015-2017年度）の重点方針を踏まえた14項目の経営指標を設定
- 半期ごと（7月・1月）に世論調査を実施。NHKに対する期待度と実現度を把握し、計画の進捗状況を検証
- NHKへの期待度を実現度をできるだけ近づけることを目標に、事業運営や業務改革を推進
- 調査結果は、「四半期業務報告」として経営委員会に報告した上で、ホームページで公表

NHKビジョン2015→2020

信頼をより確かに、未来へつなぐ創造の力

## NHK経営計画2015-2017年度 5つの重点方針

判断のよりどころとなる  
正確な報道、豊かで多彩  
なコンテンツを充実

日本を世界に、  
積極的に発信

新たな可能性を開く  
放送・サービスを創造

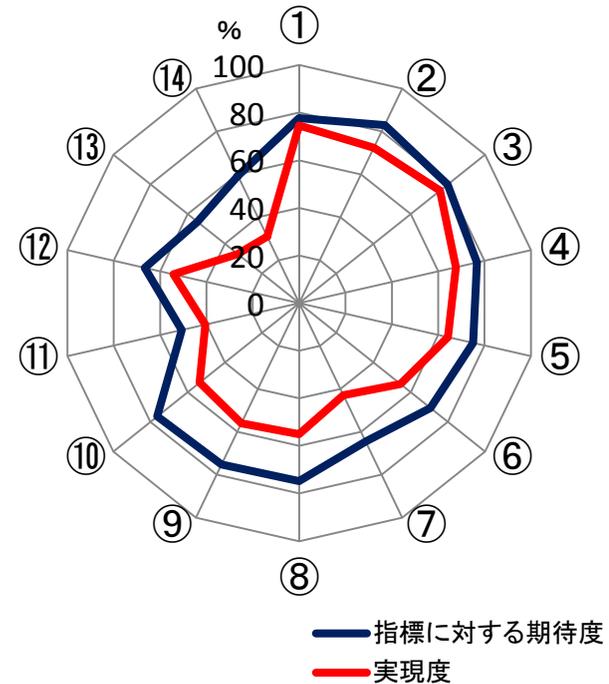
受信料の公平負担の徹  
底に向け、最大限努力

創造と効率を追求する、  
最適な組織に改革

## 14の指標

- ① 公平・公正
- ② 正確・迅速な情報提供
- ③ 多角的論点の提示
- ④ 記録・伝承
- ⑤ 文化の創造・発展
- ⑥ 多様性をふまえた編成
- ⑦ 新規性・創造性
- ⑧ 世界への情報発信
- ⑨ 地域社会への貢献
- ⑩ 人にやさしい放送
- ⑪ インターネットの活用
- ⑫ 放送技術の発展
- ⑬ 受信料制度の理解促進
- ⑭ 受信料の公平負担

## 1月に実施した調査の結果



平成28年1月8～31日実施  
全国の16才以上の男女個人3600人対象  
層化2段無作為抽出法で抽出し訪問留置法で  
実施。(有効回答数1851)

# 放送番組の質的向上に向けて：10指標評価

- 放送サービスの向上に向けて、**放送番組の質を測る10の指標を設定し**、定期的に調査を実施。
- “質の10指標”に、世帯視聴率・接触者率などの量的指標や、番組審議会のご意見なども活用し、総合的なサービス向上を推進。
- 調査の結果は、**四半期業務報告として経営委員会に報告の上、公表**。

## 10指標

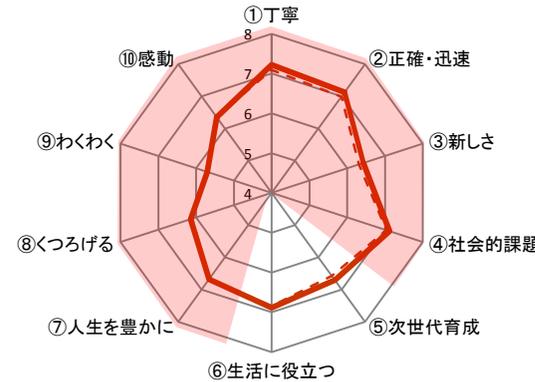
- ① 丁寧に取材・制作されている
- ② 正確な情報を迅速に伝えている
- ③ 新しい切り口や演出に挑戦している
- ④ 社会的な課題について考えさせられる
- ⑤ 次世代の育成につながる
- ⑥ 生活に役立つ情報やヒントが得られる
- ⑦ 人生を豊かにする情報やヒントが得られる
- ⑧ くつろげる・リラックスできる
- ⑨ わくわく・ドキドキする
- ⑩ 感動できる・心に残る

年4回、インターネットで調査を行い、結果を10点満点で、レーダーチャートで表示。（関東20-60代）  
分母は各波に月に1回でもリアルタイムか、録画再生で接触した人。  
塗布部分は、質的指標で特に意識する領域。

## 調査の結果

— 28年3月  
- - - 27年12月

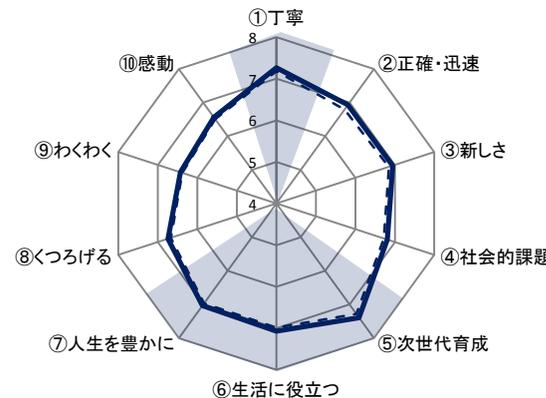
### 総合テレビ



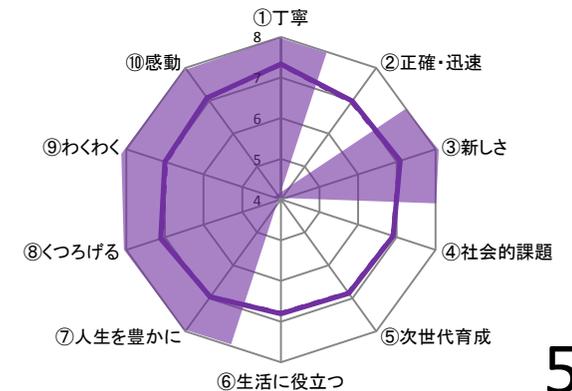
### BS1



### Eテレ



### BSP



# 地域情報の発信

## 平成28年度 国内放送番組編集の基本計画

### 4. 地域の「安全・安心の拠点」となり、地域活性化に積極的に貢献

NHKの全国の放送局は、防災・減災報道、緊急報道に全力を挙げるとともに、**地域の情報を全国、そして世界へ積極的に発信**していきます。自然や文化、人と暮らし、経済、観光資源など、その土地ならではの魅力や、地域の課題を全国に伝える情報番組やドラマ、公開番組を強化し、地域の活性化に貢献します。

さらに、**地域に密着した地域のための情報提供を充実**、暮らしや安全、地域の振興に役立つ番組やイベントなどを通じて、信頼される身近な放送局としての存在感を高めていきます。

#### ○地域放送時間（1日平均） [平成28年度計画値] ※全国放送は除く

- 総合テレビ 2時間30分程度
- ラジオ第一 2時間30分程度
- FM 1時間20分程度

#### ○地域の魅力を伝える全国放送番組の例：

- 総合：「ブラタモリ」、「鶴瓶の家族に乾杯」、「ひるブラ」、「スタジオパークからこんにちは 第2部」（地域放送局が制作した番組を紹介）
- B S：「新日本風土記」、「にっぽん縦断こころ旅」、「イッピン」、「ニッポンぶらり鉄道旅」、「食材探検 おかわり！にっぽん」
- ラジオ第一：「旅ラジ！」
- 27年度地域発ドラマ「農業女子“はらぺ娘”」（北海道）、「私の青おに」（山形）、「ガッタンガッタンそれでもゴー」（岐阜） 等

# 災害報道：熊本地震への対応

- ◆ 4月14日の発生直後から、**テレビ・ラジオ全7波で緊急報道**を実施  
(本部および全国各放送局から、ピーク時約550人の応援者を派遣)

- ◆ 発生から1週間で、総合テレビ 約90時間、ラジオ第一 約85時間

- ◆ 全国放送と地域向け放送、インターネット等を使い、必要な情報を提供

- ◆ 生活に関する情報をきめ細かく伝える「**ライフライン放送**」(熊本県域放送)を4/15未明から開始。(NHKオンラインでも情報提供)

- ◆ 関連番組(全国放送)例

- NHKスペシャル:「緊急報告 熊本地震 活断層の脅威」(4/16)  
「最新報告 “連鎖”大地震 終わらない危機」(5/14) 他
- クローズアップ現代+:「孤立した村で～“連鎖”大地震・最新報告」(4/21)  
「連続震度7 地域と家族を守れ～地元消防団1か月の格闘～」(5/12) 他
- 「あさイチ」特集 いま避難生活に必要なもの(4/20)
- 「ハートネットTV」緊急報告・熊本地震(3) どう支える被災した障害者(4/27) など

- ◆ インターネット同時配信

- テレビ:4/14夜～4/18朝にかけて、総合テレビの地震関連ニュースを断続的にインターネットで 同時配信。  
5日間で500万を超える訪問者。
- ラジオ:熊本県域 ラジオ第一(4/19～)、FM(4/22～)をネット同時配信中。

- ◆ 国際放送でも、発生直後から特設ニュース



注目サイト

**NHK 熊本**  
ラジオネット提供

熊本放送局発  
ラジオネット提供  
地域の防災・減災情報を  
随時提供しています

# 地域発の情報を世界へ発信 -NHKワールドTV-

## ◆「Hometown Stories」(平成27下期)

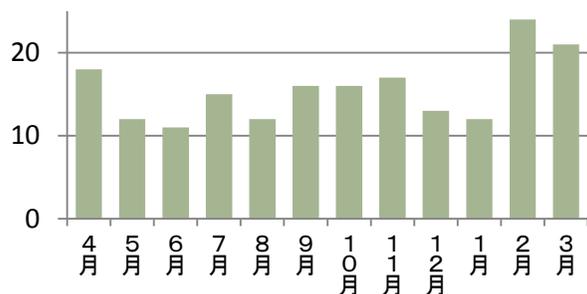
日本各地の暮らしや文化、産業などを描いたNHKの地域放送局制作の番組を英語に吹き替えて放送



<10/25 放送>「学校再開 過疎の島がよみがえる～瀬戸内海 男木島～」(高松局)  
 <1/31 放送>「“いるだけ”で何が出来るんだろう?」(仙台局) など

## ◆地域放送局からの英語レポート「NEWSLINE」

月ごとの本数(27年度)



5/19  
小さな酒蔵の  
挑戦  
(山口局)



7/14  
葉っぱビジ  
ネス  
(徳島局)

## ◆「J-Trip Plan」(28年度新番組)

初の実用的な日本観光情報番組。2020年に向け日本への関心をさらに高めるべく、東京や京都にとどまらない日本各地の魅力を発信



「とっておきの桜の風景/愛媛・島の「道の駅」をレンタサイクルで巡る」<4/4>



「ニッポン発見! 驚きの風景/大阪近郊の隠れスポット 尼崎「工場夜景」」<4/18>

東北特集 (平成27年9月)

## 「TOTALLY TOHOKU！」

東北の魅力を紹介する全63番組を集中編成



- 「Journeys in Japan」: 宮城・鳴子温泉
- 「Dining with the Chef」: 秋田・きりたんぼ鍋
- 「Seasoning the Seasons」: 福島・会津 等

北海道特集 (平成27年11月)

## 「So Hokkaido！」

本格的な冬の観光シーズンを前に北海道に関連する70の番組を集中編成



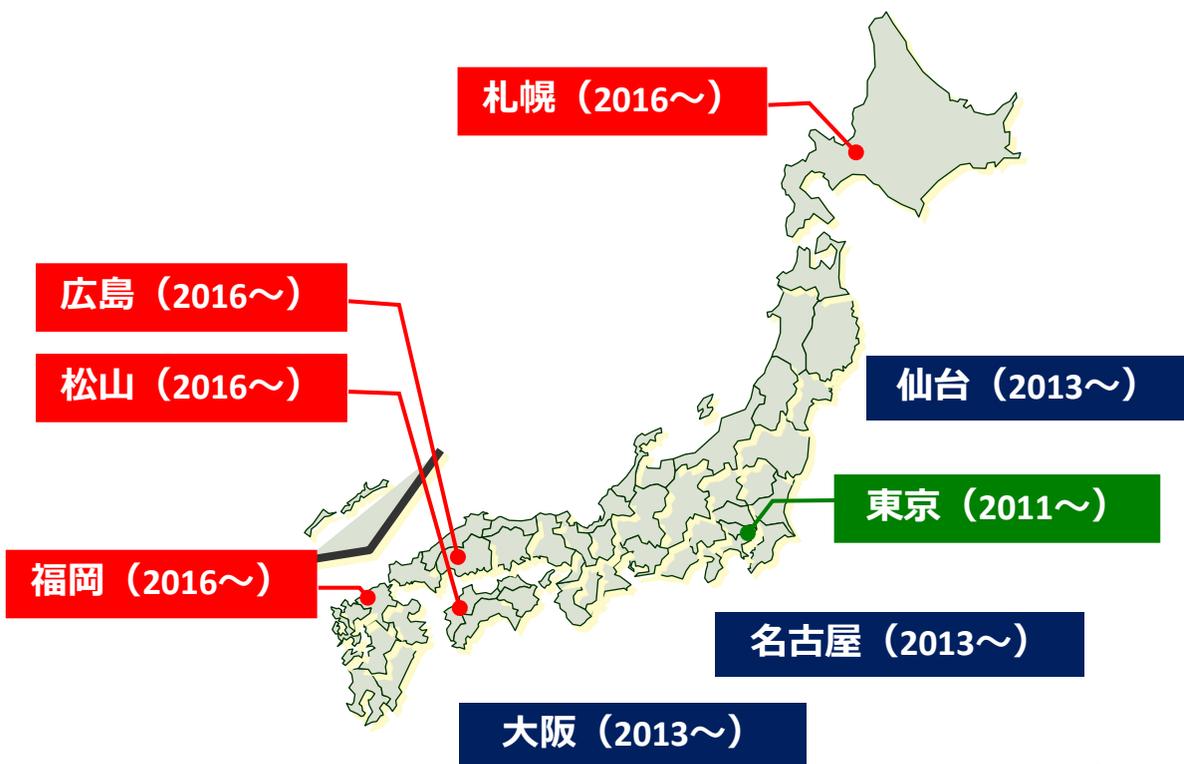
北海道は特にシンガポール、タイ、香港で人気

そのような人達は驚くほど日本のことを知っている。ありふれた内容では見てもらえない

ディープな番組をラインナップし、フェイスブック広告などでターゲット層にPR

# NHKラジオのネット同時配信サービス「らじる★らじる」 地域放送の同時提供サービスを拡大

平成28年度新たに、札幌、広島、福岡、松山局の地域放送の同時提供を開始予定



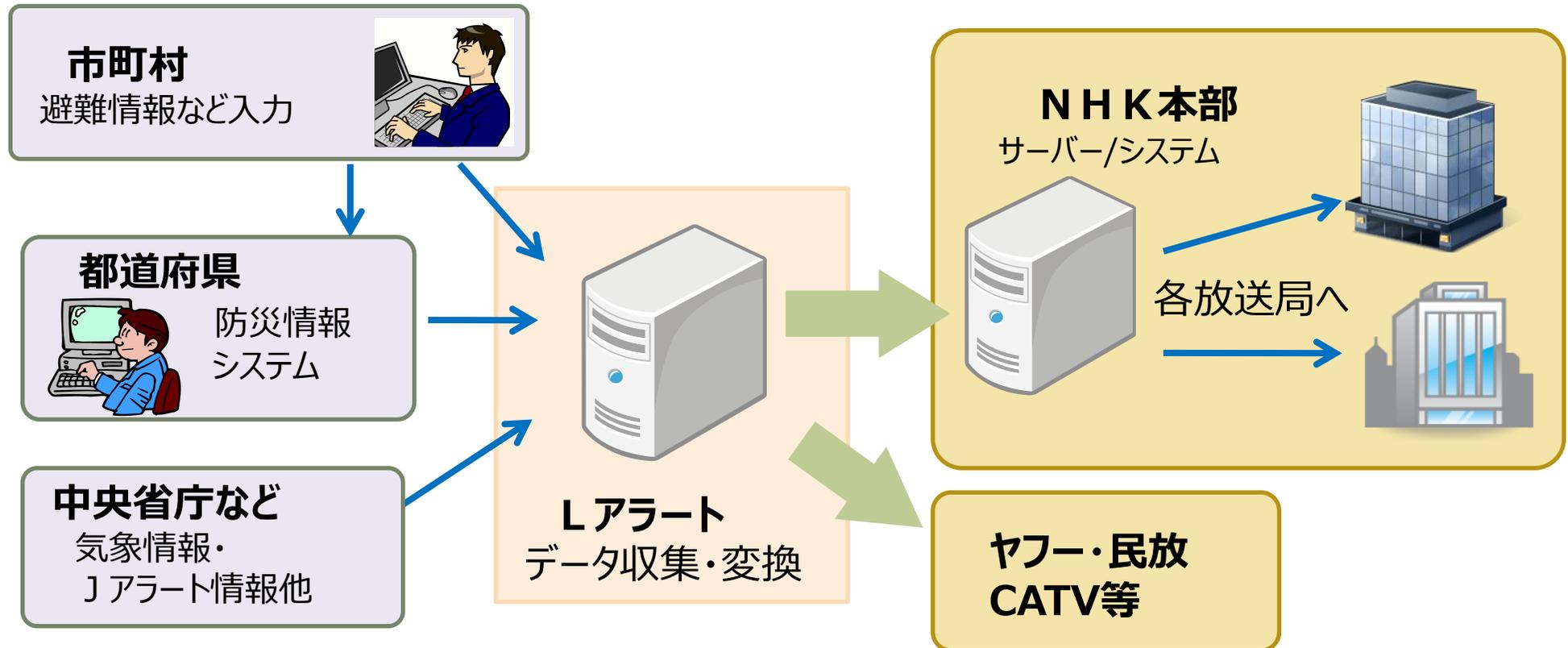
## NHK各地域放送局のラジオ編成

- ◆地域のニュース・気象情報・交通情報を中心に、1日2時間30分程度の地域放送を実施
- ◆台風や地震・大雨等の災害時には、ラジオの機動性を生かし、身近な防災・減災情報を、地域放送時間の拡大等により、各局が随時提供
- ◆夕方5時台などを中心に、地域の身近な話題、防災情報などを独自編成
- ◆年間数回、防災関連特集、プロ野球中継等を編成
- ◆FM放送では、地元の民謡などを取り上げる特集番組を編成

NHKネットラジオ  
らじる★らじる



# Lアラート(災害情報共有システム)



- ・市町村等が発信する情報を収集・変換してメディアに配信するしくみ
- ・システムは一般財団法人「マルチメディア振興センター」が運用
- ・全国38都道府県が運用中 (9県が準備中・試験中) \*

\* 2016.5.10現在。マルチメディア振興センターHPより



# スーパーハイビジョン(4K・8K)の試験放送に向けた準備状況

8月1日からの試験放送の開始に向けて、さまざまな準備を進めている。

## 【番組制作設備】

スーパーハイビジョンの番組を制作するためのカメラや中継車などの設備が完成。



22.2ch3次元立体音響制作室



8K単板式カメラ



8K中継車(SHC-1)

## 【試験放送のチャンネル】

- BS17チャンネルで放送
- 一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)と時分割で実施。

## 【番組送出設備】

番組を切り替えて送出する、マスター設備が完成。最終確認テスト中。



マスターコントロールルーム

## 【受信装置】

試験放送を全国のNHKの放送局でご覧いただけるよう、受信装置を整備中。



85インチ 8Kモニター

85型 8K液晶ディスプレイ

## 【番組制作(コンテンツ)】

自然科学、美術、歴史、音楽、スポーツ、ドラマなど、さまざまなコンテンツの制作、蓄積を進めている。

【4K】 約100本

NHKスペシャル「生命大躍進」、「アジア巨大遺跡」、大河ファンタジー「精霊の守り人」第1シリーズ、「ワイルドライフ」等

【8K】 約50本

「N響コンサート」、「8K TAKARAZUKA THEATER」、「きゃりーぱみゅぱみゅ スーパーハイビジョン・ライブ」、NHKスペシャル「アジア巨大遺跡」等

(平成28年4月現在)

# デジタルサービスの現状(1)

インターネットサービスにおいても、公共放送が果たすべき役割に重点をおき、放送を基軸とした、正確で公平・公正な情報や豊かで良質なコンテンツを提供する。

## PC・スマホ・ガラケー向け



### 「ホームページ」

#### 番組サイト

「真田丸」「とと姉ちゃん」「クロ現+」  
「ガッテン」等



PC版トップページ



スマホ版

#### ポータルサイト

「NEWS WEB」「for School」「戦  
争証言アーカイブス」「ドラマポータル」等



緊急ニュース同時提供

動画サービス  
ロボカム、緊急ニュース  
同時提供、ロボコン  
スポーツ、国際放送

#### 拠点・地域局サイト



地域局  
トップ画面

### 「アプリ」「SNS」



公式アプリ



SNS・動画共有サイト



## テレビ・ワンセグ向け

### 「データ放送」「データオンライン」 「ハイブリッドキャスト」

#### データ放送

4波  
ワンセグ2波



ワンセグデータ放送

#### データオンライン

ネット接続サービス



データオンライン

#### ハイブリッドキャスト

あさイチ、しごとの基礎英語、  
経済フロントライン、  
世界ふれあい街歩き、  
真田丸360° 等



ハイブリッドキャストトップ



ハイブリッドキャスト（番組連動など）

# デジタルサービスの現状(2)

## ■ 緊急ニュース（テレビ）のネット同時提供（放送同時配信）

- 災害時における国民の生命・財産の保護等に資するための情報や、国民生活や社会全体に大きな影響を及ぼす情報で、特に迅速に提供すべき情報を**放送と同時に提供**

(これまでの実績)

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| ●安倍首相アメリカ議会演説：27年4月30日 | ●北関東に大雨特別警報：9月10日～11日 |
| ●口永良部島噴火関連：5月29日       | ●阿蘇山噴火警戒レベル3：9月14日    |
| ●台風11号関連：7月16日～17日     | ●北朝鮮ミサイル発射：28年2月7日    |
| ●台風15号関連：8月25日         | ●熊本地震：4月14日～18日       |
| ●台風18号関連：9月9日          | ●大分で震度5強：4月29日        |



## ■ ライブストリーミング（リアルタイム映像等）

- 大規模災害時のロボカメラ映像・音声、国民的関心の特に高い事件、事故、出来事の**現場映像・音声等を、リアルタイムで提供**

(27年度) 火山噴火、台風、ロケット打ち上げ、ノーベル賞受賞記念会見等のライブカメラ映像・音声 など

(28年度) バトミントン違法カジノ賭博会見、G7外相広島平和公園訪問、五輪エンブレム発表 など

## ■ 国内ラジオと国際放送の放送同時配信サービス

- 国内ラジオ（NHKネットラジオ らじる★らじる）
- 国際放送：テレビ（NHK WORLD TV）、ラジオ（NHK WORLD RADIO JAPAN）

# デジタルサービスの現状(3)

## ■ ハイブリッドキャストサービス

### – 「常時コンテンツ」：24時間いつでも



「真田丸」…番組セットを360°の視点で隅々まで見ることができる  
「丸っと360°!!」等



「みのがしなつかし」…過去のニュースやなつかしい番組のダイジェスト  
およそ2000本

その他：  
「ニュース」「気象情報」  
「そなえる防災」  
「おはなしのくに」  
「クローズアップ現代+」  
「きょうの料理」  
「すてきにハンドメイド」等

### – 「番組連動コンテンツ」：新たな視聴体験を提供



#### 「あさイチ」(総合)

- 番組マスコットキャラクターを使ったクイズコーナーなど



#### 「しごとの基礎英語」(Eテレ)

- 番組中のミニドラマや詳しい解説動画へ誘導



#### 「経済フロントライン」(BS1)

- 画面下に用語解説、出演者プロフィールなどを表示
- 放送中、レポートVTRを好きな時に再生できる



#### 「世界ふれあい街歩き」(BS P)

- 画面上に、訪れた通りや名所旧跡、出会った人の情報を表示
- セカンドスクリーンでは“旅のフォトブック”

# 試験的提供A, B

## (インターネットを通じたテレビ放送同時配信の検証実験)

### <試験的提供A>

- 内 容：・NHK杯国際フィギュアスケート（11月）  
・天皇杯サッカー決勝（1月）  
・ラグビー日本選手権決勝（1月）

参加者：自由に参加可能（事前の申込、登録等不要）  
（訪問者数：フィギュア8.4万人、サッカー0.8万人、  
ラグビー0.3万人）

#### （結果の概要）

- ・NHKフィギュアでは、ピーク時の訪問者数 1.3万人。
- ・3つのイベントいずれも、利用者の約9割が満足と回答。
- ・「パケット通信量が心配だった」「画質がよくなかった」などの意見があった。
- ・アクセス集中による配信システムへの影響はなく、安定して動作。放送と比較した遅延は約50秒。

詳しくは参考資料を  
ご参照ください。

### <試験的提供B>

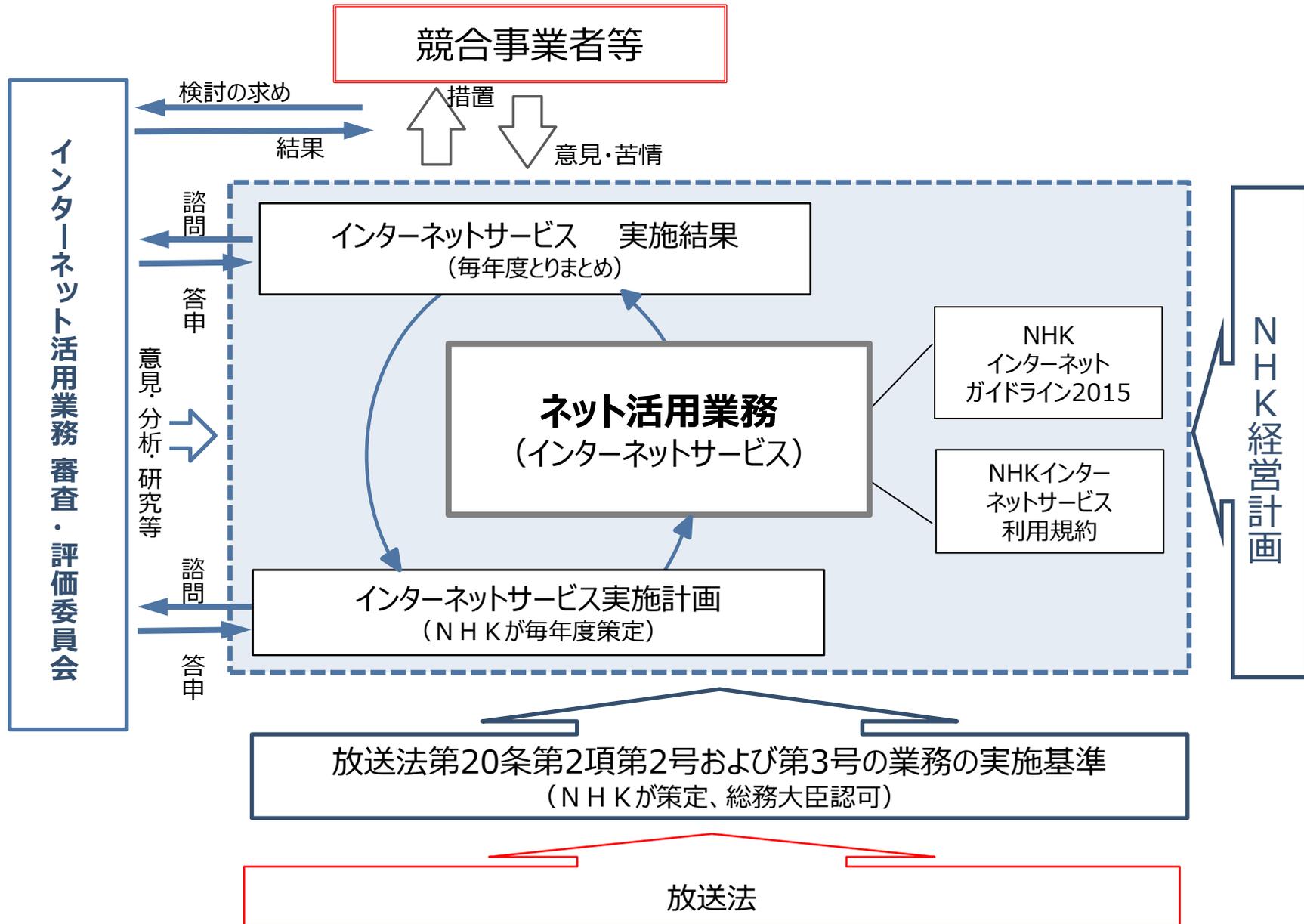
- 内 容：総合テレビ（関東広域）の番組  
平成27年10月19日～11月15日（4週間）  
午前7時から午後11時まで 一日16時間以内  
計 345時間57分

参加者：①調査会社のネットモニターを通じて募集した参加者  
②NHKのインターネット会員サービス「NHKネット  
クラブ」を通じて募集した参加者  
①②計 9,898人 （すべて受信契約世帯の方）

#### （結果の概要）

- ・ネットクラブ参加者のアンケートでは、自宅からの視聴については、1日を通し、パソコンからの利用が多かった。移動時間や外出先での利用はスマートフォン等のモバイル利用が多く、朝の通勤時における利用が目立った。
- ・ネットクラブ参加者のアンケートではまた、6割弱が満足。「近くにテレビがないときに見られるから」「手元で番組を見られるから」等。
- ・ネット配信の権利のない番組やニュース項目は、「おことわり画面」に差し替えた。配信対象時間の約2割。
- ・放送と比較した遅延は約25秒。

# インターネットネット活用業務の枠組み



# インターネット活用業務 審査・評価委員会

- 協会のインターネット活用業務が、公共放送としての協会の業務として適正に行われることを確保する観点から、検討を行う。
- 委員4名 (五十音順・敬称略 平成28年3月31日現在)
  - 大久保 直樹 学習院大学法学部 教授 【経済法】
  - 黒田 敏史 東京経済大学 専任講師 【計量経済学、情報通信政策】
  - 齊藤 愛 千葉大学法政経学部 准教授 【憲法、情報法】
  - (座長) 白山 真一 公認会計士
- 平成27年3月設置 これまでに6回開催。
- これまでの主な議題：
  - 平成28年度インターネットサービス実施計画 (諮問・答申)
  - 競合事業者等からの意見・苦情への対応
  - インターネット活用業務の実施状況に関する報告
  - インターネットサービスの競争評価に関する研究・ディスカッション  
(例：公共的価値の評価基準に関する検討、市場競争への影響についての検討 等)